

むかしむかし、それは、今から約40年前のこと、
弊社会長が、新製品開発につなげるため、全国の弊社製品ユーザーの農業関連の方々に、困り事や、
新しいニーズを聞いて廻る行脚旅を行っていました。



その際、移動に使っていた車は、ナビもエアコンも無しの
超オンボロ車。バッテリーも弱くバッテリー上がりも
頻繁に発生し、エンジン始動が出来ずに足止めを食らう事が
度々あったので、その対策として、予備に小さい密閉電池
を持って旅を続けていました。



その旅の中、熊本阿蘇地方の農協さんに行った時、
バッテリー上がりでエンジン始動できないトラクターがあり、
大変困っておられました。



そこで、会長は、「あー！！ 自分と同じだ」と思いながら、
「これでエンジン始動したらどうですか？」
持っていた小さな電池を差し出しました。



しかし、周りにいた方々は、
「こんな小さな電池でエンジン始動できるはずがない」
と呆れ顔でした。そこを、「自分はエンジン始動出来ているので、
出来ると思いますよ」と説得し、とにかくやってみよう！
ということになり、皆さんは半信半疑ながら、
小さな電池でエンジン始動をやってみました。そしたら、
皆さんの予想に反して見事エンジン始動できたのです。



(会長は自信满满だったのですが・・・) その場にいたみんなビックリ！
「こんな小さな電池でも掛かるんだ」と大変喜んでいただけました。

みんなの喜ぶ様子を見た会長は、よし！これはヒット商品になるかもしれない！！と直感し、
商品開発がスタートしました。その後、悪戦苦闘の末、バッテリーカが誕生しました。